

# 学校評価を基にした学校運営の改善 ～学校評価による学校教育目標の重点化～

鹿追町立笹川小学校  
学 級 数 6  
(校長 高橋 教之)

## I はじめに

今日、学校の裁量の拡大や学校運営の質に対する保護者等の関心の高まりに伴い、学校が教育活動の成果を検証し、改善を図るとともに、保護者等に対して説明責任を果たすことが重要となってきている。

本校では、令和3年度鹿追町教育行政執行方針を受け、育成する資質・能力を学校と社会が共有し、地域総がかりで学びを支える体制を構築するため、学校の取組を地域や家庭が理解できるよう、学校教育目標の重点化を図るとともに、カリキュラム・マネジメントと連動させた学校評価の改善を図り、地域に信頼される学校づくりに取り組んでいる。

## II 実践の概要

学校の重点目標を達成させるため、PDCAサイクルに基づき、学校評価による学校教育目標の重点化を図ることで、学校運営の改善につなげる。

## III 実践内容

### 1 学校評価による学校力向上に向けた取組

#### (1) 学校教育目標の重点化

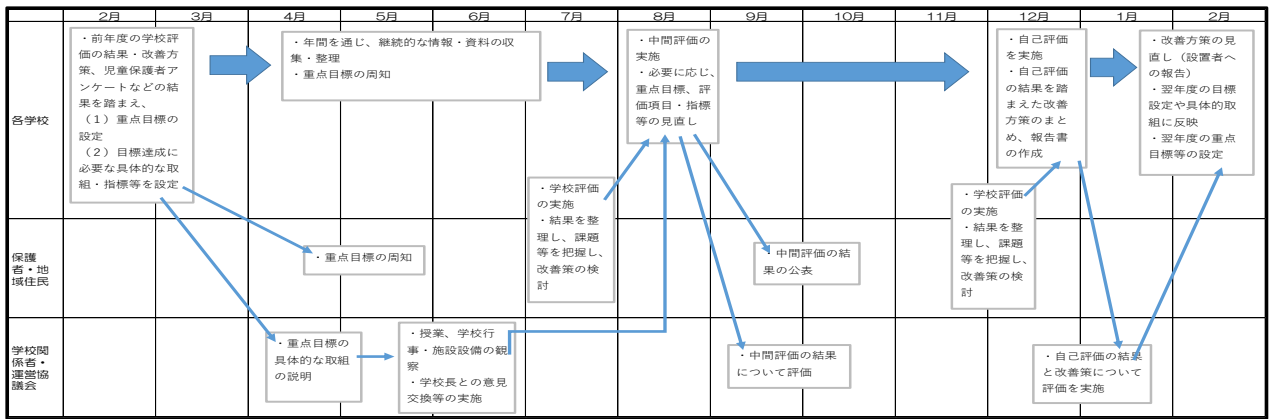
- ① 教職員が一丸となって教育活動の充実に取り組むため、学校の取組を地域や家庭が理解できるよう、学校教育目標の重点化（重点目標の設定）を図る。
- ② 令和3年度は、令和2年度の「鹿追町一貫教育コミュニティ・スクール」運営協議会での意見を基に、町全体で「信頼される学校づくり」、「学力向上」に係る内容で重点目標を設定する。
- ③ 本校の重点目標について、「学校経営の重点と取組」としてまとめ、保護者へ周知する。

#### (2) 学校評価・学校関係者評価の結果を踏まえた改善方策の見直し

- ① 前年度の学校評価の結果等を踏まえて、重点目標及びその目標達成に必要な具体的な取組や数値指標・評価方法・達成状況等を設定する。
- ② 学校改善プランにも重点目標を関連付け、PDCAサイクルにより学校運営改善に組織的に取り組む。
- ③ 学校運営協議会委員による教育活動の観察や学校長との意見交換等を通じ、学校評価の結果を基にした学校関係者評価を行う。
- ④ 学校評価の結果を学校関係者に評価されることで、学校評価の結果の信頼性や客観性を高める。
- ⑤ 1学期末学校評価等の結果を整理し、課題等を把握、改善点の検討を全教職員で行った後、学校評価中間報告を9月に作成する。
- ⑥ 2学期末の学校評価等の結果を整理し、最終的な報告を1月までに作成し、翌年度の重点目標の設定につなげる。



【学校運営協議会委員学校視察】



【学校評価・学校関係者評価の結果を踏まえた改善方針の年間計画】

## 2 重点目標の達成に向けた具体的な取組

### (1) 信頼される学校づくり～地域とつながる

- ① 総合的な学習の時間における「畑の学習」では、町のJA青年部や保護者が講師となり、種や苗の植え方等のポイントを子どもたちに直接指導していただいた。
- ② 避難訓練実施後に、消防署に協力をいただいて消防車の見学や放水体験を行ったり、地域の防災士を講師に招いて災害時の対応について体験を通して学んだりした。
- ③ 地域の保育所と連携し、幼児・児童理解交流等の合同研修会の実施やスタートカリキュラムの改善、お話キャラバンの合同開催等を実施している。
- ④ とかち鹿追ジオパーク推進協議会と連携し、鹿追町の自然と産業に関する環境学習を実施している。



【保護者・地域青年部との畑の学習】

### (2) 学力向上～確かな学力

- ① iPadを用いて、週1回朝学習の時間に速読解力ソフト（TERRACE）を活用して読解力の向上に取り組み、年2回の検定を受験している。
- ② 全国学力・学習状況調査に向けて、事前に前年度の問題に取り組み、児童一人一人の課題を把握している。
- ③ 単元テストにおいては学校全体で正答率80%以上を数値指標とし、必ず間違った問題の直しをする指導を継続している。
- ④ 研修部による複式指導における授業の改善と工夫について、計画的に校内研修を実施している。



【iPadを活用した朝学習】

## IV 成果と課題

- 学校評価をもとに重点目標と取組の具体策を設定することで、学校課題解決の方策が焦点化され、教職員全体で共有し取り組むことができた。
- 学校評価の中間結果から、具体的な取組、数値指標、評価方法等について見直しを図り、改善に取り組むことができた。
- 学校評価を教職員間のコミュニケーションツールとして活用することで、学校運営への参画を促すことができた。
- 学校評価の計画や中間報告を全教職員で共有することで、1年間の教育活動を見通して進めることができています。
- 学校関係者評価等から、学校の課題や問題点を整理し、改善につながる具体的方策を教職員と交流・検証して、改善を図るサイクル作りが必要である。
- 学校評価の中間結果から、分掌業務の精選が図られるよう、管理職がリーダーシップを発揮する必要がある。